

嘉麻市立碓井小学校 学校だより No13

碓井っ子

う・運動大好き うすいっ子
す・すなおな心の うすいっ子
い・いっぱい学ぶ うすいっ子

最終号

令和5年3月22日 校長 宮脇 教子

閉校に寄せて 「感謝」

閉校を目前にした今、みなさんに伝えたい一番の言葉です。

明治19年から続く碓井小学校の幕を閉じ、碓井義務教育学校への架け橋を渡す

大役を任された令和4年4月から、校長室に並ぶ歴代校長と歴代PTA会長の写真に

向き合いながら、碓井小学校の歴史と伝統の重みに畏怖の念を抱いて臨んだ一年でし

た。第45代、最後の校長としての重責は、この碓井の地に育まれた人々の温かさや心

強いご支援によって、その荷を下ろそうとしています。

「校長先生、おはようございます。」校門前に吹き抜ける緑の風。校門までの道すがら、

幾度となく繰り返される「おはようございます」の応答。見渡せば、いくつもの黄色いジ

ャンパーに黄色い旗。地域の方や保護者の方の見守りは、安心安全な風土を作ってく

れました。校門横の「樹木園」。運動場の大ケヤキ。心地よい木漏れ日は、子どもたちに

癒しを与えてくれました。そして、もうすぐ姿を消してしまう学び舎は、子どもたちの学び

を創り、仲間をつなぐ場となってくれました。校外で行われる数々の集いの場には、学校

を支えてくださる地域の方の顔があり、教育に対する熱い思いがありました。そして、

校内では、全ての先生たちが「わかる・できる」「楽しい行い」の重点目標達成に向けて、

同僚性高く教育実践に勤んでくれました。結果として、碓井の子どもたちは、本当に

心優しくかわいらしく、たくましく育っています。このような環境に身を置いて、学校経営

に邁進できたことは、校長としてこの上ない幸せでした。

明治、大正、昭和、平成と時は移り、教育界では「令和の日本型教育」を推進するべく、

「誰一人取り残さない教育活動の展開」が求められています。しかし、ここ碓井の地で

は随分以前から温められてきた理念であり不易な軸です。様々な先達の志と偉業に

敬意を表し、今後も受け継ぐ所存です。

さあ、新しいステージに温故知新で臨みましょう。新たな歴史を刻みましょう。

目の前に建ちあがるグレーの校舎が、地域の睦の場所になりますように。そして、ここ

に集う子どもたちが、ふるさと碓井を胸に志高く、社会にはばたく人材となりますよう

に。これからもエールを送り続けます。碓井からいただいた熱き想いを感謝に代えて。

嘉麻市立碓井小学校 第45代校長 宮脇 教子



